



きれいに配色された内部

## 耐震性を考慮した厚南中学校舎完成

▲一昨年の十勝沖地震で被害を受け、災害復旧事業として建て替え工事が行なわれていた厚南中学校（恐神寛秀校長）の新校舎が3月25日に完成しました。

鉄筋コンクリート2階建て、延べ床面積2,337㎡。事業費は、約5億9,600万円で、国の公立学校施設災害復旧負担金などを財源としました。

校舎内は壁などに稲穂をイメージした黄色も随所に配色され、オープンスペースを多く取り入れたゆとりのある建物となっています。

耐震性を考慮した真新しい校舎で、生徒たちの表情もはずんでいました。

▼道路改良に伴う新しい富里大橋が完成し、4月8日から開通しました。

平成14年度から整備が進められてい富里大橋は、長さ119.2m、幅が7.5m、事業費全体額で4億7,500万円（うち国・道の補助金3億2,000万円）となっています。

地域をつなぐかけ橋となるよう、4つのプレートの題字は、町長がしたためました。

平成17年度は、旧富里大橋の解体工事が行なわれます。

## 地域をつなぐかけ橋 富里大橋開通



町長がしたためた題字